

六郷特別出張所管内	
人口	男31,938名
	女29,963名
	計61,901名
世帯数	26,964世帯
平成9年5月1日現在	

# 六郷わがまち

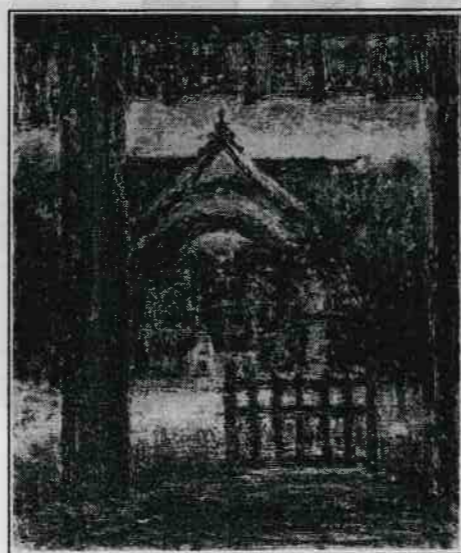
発行 わがまち大田  
 六郷地区推進委員会  
 編集 「六郷わがまち」編集委員会  
 事務局 大田区六郷特別出張所  
 〒144 大田区仲六郷2-42-2  
 電話 03(3732)4885(代)



宝幢院 米津正彦

真言宗智山派の寺院で、本尊勧請様式は阿弥陀如来。

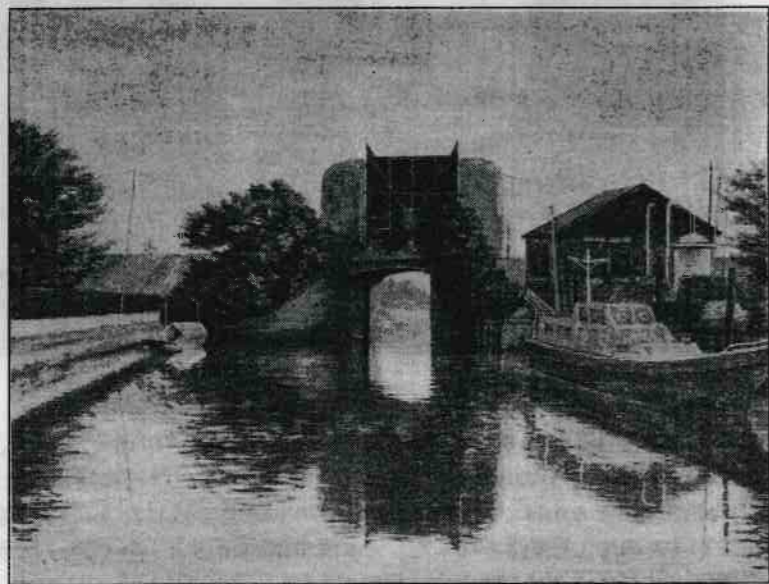
寺伝によると平安末期(1150頃)行観の開基といわれる。寺内には区内で最も古い水船(手水石)、区内最古の梵鐘(多摩川の河原で鑄造)などの区指定文化財等がある。



六郷神社 小野紀男

六郷水門 塚本吉廣

昭和期(1926~1989)に入り、六郷地区の住宅化が進み、流出する生活用水が増し、大降雨時など排水しきれずに浸水する地域が広がった。そこで、六郷用水の末流、池上・矢口・羽田の一部と六郷の全域の排水を受け持つため、六郷水門が昭和6年(1931)に完成した。今日では、下水道の完備によってその使命は終わり、現在は、内側に釣り舟が係留されている。



六郷神社獅子舞 円城寺美津男

祭神は菅田別命。天喜5年(1057)源頼義・義家が奥羽征定のとき、この地の老杉に白旗を揚げ、凱旋の後、報賽のために社を建てたのが起り。

古い浄水石・太鼓橋等があり、1月7日の流鏝馬(都指定文化財)や、6月上旬の祭礼に行われる子供獅子舞は有名。

☆それぞれの絵の題と説明は、大田区教育委員会社会教育課編集の『新大田区百景』によりました。

ことし三月、大田区政50周年を迎えた記念に、「新大田区百景」が選定され、わがまち大田の「いま」を未来に伝える貴重な風物が、油彩・日本画・水彩・墨彩画・アクリルなどヴァリエタビリティに富んだ技法で描かれました。昭和39年制作の「大田区百景」にくらべると、六郷地区を描いた絵画は3点から9点に増えています。カラー写真で紹介できないのが残念ですが、ご鑑賞ください。

「新大田区百景」に描かれた六郷

### 六郷特別出張所の所長に横山庸子氏就任

4月1日付をもって六郷特別出張所の所長に横山庸子氏が就任されました。清新な活躍を期待したいものです。なお、田中節前所長は、糞谷保健福祉センターの生活福祉課長として赴任されました。

### 第46回大田区子どもガーデンパーティー

4月27日(日)、快晴に恵まれた六郷会場には鯉のぼりが川風に泳ぎ、「宇宙へはばたけ六郷っ子」を合言葉に8,003人が多彩な催しに挑戦。ことしは大田区政50周年記念植樹も行われました。



### 六郷橋緑地と多摩川 真辺啓介

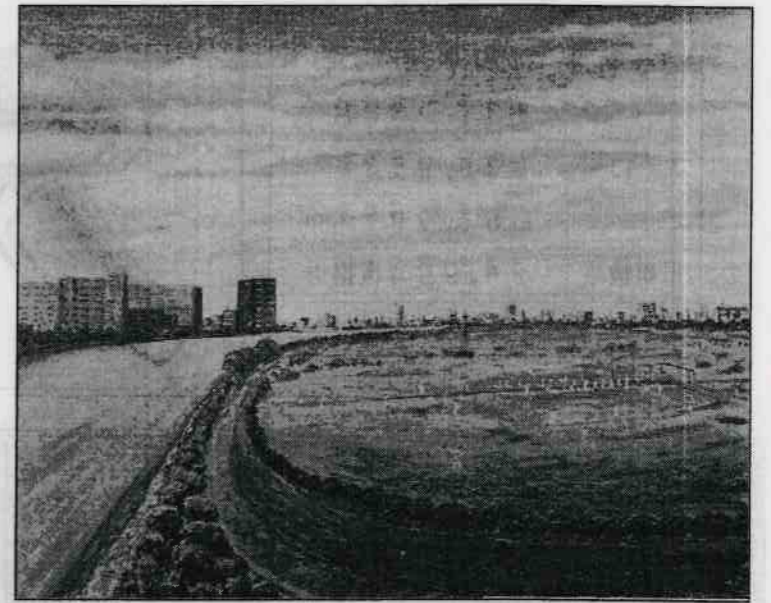
第一京浜国道の六郷橋から六郷水門までの河川敷を緑地公園化したもので約117,700㎡の広さがある。

緑地内には、ゲートボール場、テニスコート6面、野球場6面、サイクリングコース等がある。河岸には、アソ原も残され、野鳥も多い。

### 区民広場と対岸 江淵さやか

多摩川緑地は、JR京浜東北線より上流の河川敷を緑地公園化したもので、約349,000㎡の広さがある。

区民広場・池・19面の野球場・自由広場等がある。池では、釣りを楽しむ人の姿を見ることができる。対岸は川崎市である。



### 六郷の草たち ⑬

野菜のナスの花にそっくりな草が、夏をむかえた土手の斜面に咲いています。



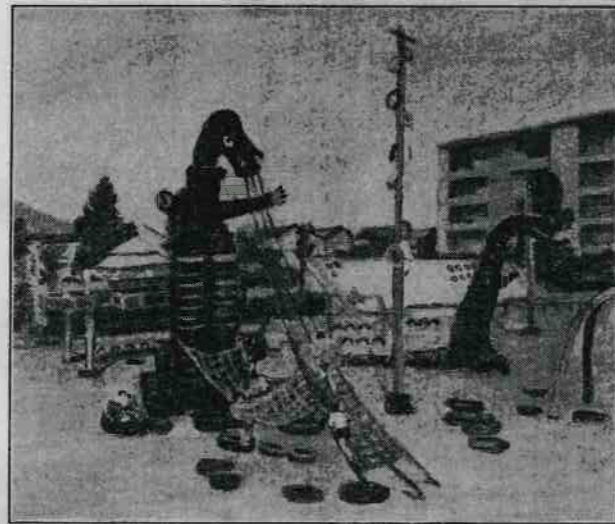
ワルナスビ

(ナス科)

白や薄紫色の花を手折ろうとすると、トゲをさすのでご用心!

悪いナスビの名のとおり草全体がトゲだらけの北米原産の帰化植物です。晩秋に1.5cmほどの橙黄色の丸いきれいな実をつけて目を楽ませてくれます。

(古屋のり子)



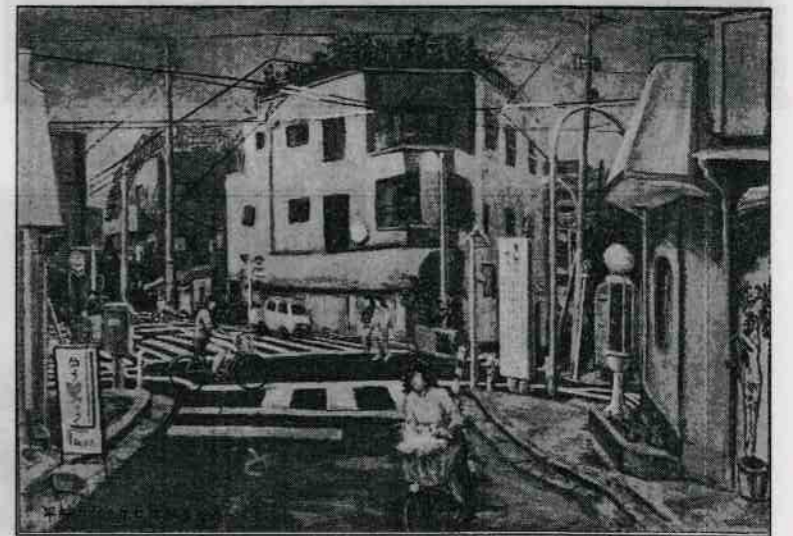
### タイヤ公園 諏訪潤一

正式名称は「西六郷公園」。昭和44年(1969)に開園された。古タイヤ(重さ1t直径2mのものやジェット機のものもある)を利用し、親子ゴジラ(高さ8m)や、ロボット・ロケットも作られ、子どもたちの人気を集めている。3,500本の古タイヤが活用されている。



### ジャズ&花火 井上洋子

「平和の尊さを確かめ合い、戦争の悲惨さを語り継いでいきたいという思いを込めた」区民の集いで、毎年8月15日午後6時30分から8時40分頃まで、多摩川河川敷で行われる。昭和61年(1986)から開催されている。ジャズ演奏と平和都市宣言記念式典に続いて、4,000発の花火が打ち上げられる。



### 七辻 峯岸一男

このあたりも昔、六郷村といって、田畑の中に畦道が通っていて、荷車が通れるような道は1本だけだった。大正6年(1917)に始まった耕地整理がきっかけで、反対運動等もあり、畦道を残した上に幹道をつくったので、七差路となった。一本道を間違えると、全く違った所に行ってしまうため、地元では「迷い道」とも言われている。

### 六郷地区の区政 功労者34名表彰

平成8年度の区政功労者として、六郷地区からは次のみなさんが3月14日、区民プラザで西野区長から表彰状と記念品が贈られました。

- △保健衛生協力員・伝染病予防委員▽熊谷壽子・高田浩二・平林ヒデ・藤盛ミツ子・本間松江△民生委員・児童委員▽飯沼千代子・石渡和子・吉田エミ子
- △統計調査員▽金輪幸子・河村和子・佐久間啓治・佐竹みつ枝・永田又雄△自治会・町会▽小林哲夫・遠田正七・大野豊吉・棚橋春子・平林菊次郎・古川紀乃・松川靖治△多額寄付者▽荒井敏一・柳田フミ子△区立学校薬剤師▽石橋敬子△区立学校教職員功績顕著者▽梅田とよ子・老川秀夫・嘉藤隆・野坂允△私立保育園嘱託医▽小川孝紀△区立学校歯科医▽高岡彰・寺野治彦△区立学校医▽野口順治・松坂勲